

地域再生計画

1 地域再生計画の名称

富士見市キラリと輝く創生推進計画

2 地域再生計画の作成主体の名称

埼玉県富士見市

3 地域再生計画の区域

埼玉県富士見市の全域

4 地域再生計画の目標

本市の人口は、近年微増傾向にあり令和2年4月末には、112,000人を超える人口となっているが、本市が策定した人口ビジョンの独自推計では、令和7年度をピークに総人口は減少となり、2060年には94,251人と、令和2年比で総人口が約84%となる見込みである。

本市の人口動態は、全国的な少子化の影響を受け自然減となっているが、東京から約30キロメートルという立地から、社会増は継続している。

年齢3区分別の人口構成の推移をみると、平成21(2009)年から令和2(2020)年にかけて、年少人口(0～14歳)が14.2%(14,972人)から12.4%(13,910人)、生産年齢人口(15～64歳)が67.1%(70,935人)から63.2%(70,894人)、老年人口(65歳以上)が18.7%(19,814人)から24.4%(27,400人)となっており、年少人口と生産年齢人口は減少傾向、老年人口は増加傾向にある。特に75歳以上人口は、令和2(2020)年は12.8%となっており、平成21(2009)年の6.3%の2倍となっている。

自然動態を見ると、平成12(2000)年は750人の自然増であったが、以降自然増数は減少し続け、平成29(2017)年に自然減に転じた。令和2(2020)年度は出生数824人、死亡数1,056人で、232人の自然減となっている。

社会動態は、平成19(2007)年以降はプラスで増減を繰り返している。令和2(2020)年度では転入数6,579人、転出数6,079人で500人の社会増となっている。

このまま人口減少が進むと、市内消費の規模縮小に伴い、倒産企業の増加や市内の経済成長が鈍化することで市税収入が減少するほか、医療介護ニーズの増加によるサービスのひっ迫や扶助費などの社会保障費の増加が懸念される。

今後は、人口減少に歯止めをかけ、将来的な人口確保に向けた「積極戦略」として、市民の結婚・妊娠・出産・子育ての希望の実現を図るとともに、健康長寿の延伸や、住んでみたい・住み続けたい魅力的なまちづくりを推進する。

また、人口構成の変化に対応した新たな地域社会の構築を目指す「調整戦略」と

して、産業の活力向上に取り組むとともに、良好な住環境の形成と魅力向上につながる土地利用を推進していく。

基本目標 A 「人」に あたたかい 富士見市

基本目標 B 「暮らし」に やさしい 富士見市

基本目標 C 「仕事」を つくる 富士見市

基本目標 D 「新しい生活様式」に 対応する 富士見市

【数値目標】

5－2の①に掲げる事業	K P I	現状値 (計画開始時点)	目標値 (2025年度)	達成に寄与する 地方版総合戦略 の基本目標
ア	自然増減数	△232人 (2020年度)	+93人	基本目標 A
ア	年少人口割合	12.6% (2020年度)	12.9%	基本目標 A
イ	「住みよい」と感じ ている方の割合	74.0% (2018年度)	83.1%	基本目標 B
イ	「住み続けたい」と 感じている方の割合	77.4% (2018年度)	83.1%	基本目標 B
ウ	住民1人あたりの個人 住民税負担額	69,870円 (2020年度)	76,522円	基本目標 C
ウ	市全体における法人 市民税の構成比	3.5% (2020年度)	4.5%	基本目標 C
エ	コロナ禍においても 充実した生活を送る ことができている市民 割合	—	75.0%	基本目標 D
エ	法人市民税納税義務 者数	2,367社 (2020年度)	2,508社	基本目標 D

5 地域再生を図るために行う事業

5－1 全体の概要

5－2のとおり。

5－2 第5章の特別の措置を適用して行う事業

- まち・ひと・しごと創生寄附活用事業に関連する寄附を行った法人に対する特例（内閣府）：【A2007】

① 事業の名称

富士見市キラリと輝く創生総合戦略の実現に資する事業

ア 「人」にあたたかい富士見市に資する事業

イ 「暮らし」にやさしい富士見市に資する事業

ウ 「仕事」をつくる富士見市に資する事業

エ 「新しい生活様式」に対応する富士見市に資する事業

② 事業の内容

ア 「人」にあたたかい富士見市に資する事業

「結婚・出産の希望をかなえるまち」、「子育ての希望をかなえるまち」、「健康長寿の希望をかなえるまち」の実現に資する事業。

【具体的な事業】

- ・ 婚活や結婚生活への相談・支援
- ・ 不妊治療や妊娠に関する相談・支援
- ・ 産前・産後サポート事業の推進
- ・ 特色ある幼稚園教育の推進
- ・ 子ども大学やSTEM教育などの推進
- ・ 保育所・放課後児童クラブの整備
- ・ 各種がん検診等の推進
- ・ 生きがいつくりのための学習や活動への支援 等

イ 「暮らし」にやさしい富士見市に資する事業

「便利に快適に暮らせるまち」、「地域の魅力を感じ暮らせるまち」、「ともに支え合い暮らせるまち」、「誰もが安全で安心に暮らせるまち」の実現に資する事業。

【具体的な事業】

- ・ 商店街等の活性化や買物弱者への支援
- ・ 幹線・生活・歩道等各種道路整備事業の推進及び公共交通の整備
- ・ 空き家対策及び住まいに関する支援
- ・ 公園や史跡など地域資源の魅力向上への取り組み
- ・ 緑地等の保全と活用
- ・ 富士見ブランドの推進
- ・ 近居・同居に対する相談・支援
- ・ ふるさと祭りなど協働イベントの実施
- ・ 自主防犯活動や防犯機器設置の推進
- ・ 自主防災組織の推進など災害対策の推進
- ・ 交通安全対策の推進 等

ウ 「仕事」をつくる富士見市に資する事業

「強い産業基盤を形成するまち」、「魅力と活力のある農業基盤を形成するまち」、「誰もが活躍できるまち」の実現に資する事業。

【具体的な事業】

- ・産業団地の整備推進
- ・市内事業者の事業拡大や先端設備導入等への支援
- ・創業希望者や空き店舗を活用した出店への支援
- ・認定農業者への支援
- ・市内農産物の6次産業化やスマート農業の導入への支援
- ・多様な働き方（サテライトオフィスやリモートワーク）の推進
- ・女性の再就職や起業への支援
- ・高齢者や外国籍市民の就労支援 等

エ 新たな日常に対応した生活の確立に資する事業

「新たな日常に対応した生活の確立」、「地域経済の継続」の実現に資する事業

【具体的な事業】

- ・行政手続や学校教育等のICT化の推進
- ・市内事業者の事業継続への支援
- ・デジタル技術の積極的活用への支援 等

※なお、詳細は第2期富士見市 キラリと輝く創生総合戦略のとおり。

- ③ 事業の実施状況に関する客観的な指標（重要業績評価指標（KPI））
4の数値目標に同じ。

- ④ 寄附の金額の目安
400,000千円（2021年度～2025年度累計）

- ⑤ 事業の評価の方法（PDCAサイクル）
毎年度3月頃に外部有識者による効果検証を行い、翌年度以降の取組方針を決定する。検証後速やかに富士見市公式ホームページ上で検証内容等を公表する。

- ⑥ 事業実施期間
地域再生計画認定の日から2026年3月31日まで

6 計画期間

地域再生計画認定の日から2026年3月31日まで